

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 萩野センター
	所在地	あきる野市雨間 533 番地 1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
開館等日数（日）	244	268			
延べ利用者数 通所（人）	2,325	2,712			
前年度比（人）	—	387			
前年度比（%）	—	116.6			
延べ利用者数 自主事業（人）	512	1,500			
前年度比（人）	—	988			
前年度比（%）	—	293.0			
利用料金 合計 通所（千円）	2,137	2,365			
前年度比（千円）	—	228			
前年度比（%）	—	110.7			
利用料金 合計 自主事業（千円）	411	1,096			
前年度比（千円）	—	685			
前年度比（%）	—	266.7			

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	14,469	13,916			
	利用料金収入	2,137	2,365			
	自主事業収入	411	1,096			
	収入計	17,017	17,377			
支 出	人件費	9,903	11,100			
	維持管理経費	3,889	5,152			
	自主事業関係経費	4,290	2,471			
	その他の支出	0	0			
	支出計	18,082	18,723			
収支(収入-支出)		△1,065	△1,346			

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業は、声掛けや食事の残菜状況、聞き取りや様子観察をすることで身体の状態、センターに対する満足度を把握しています。げんき応援事業は、各講座終了時にアンケートを実施し、さらに魅力のある講座を立ち上げるための意見をいただいております。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
温かみがあり栄養管理のできている食事の提供で、毎回の食事が楽しみになったと喜びの声が上がってきています。また、アレルギー対応で他の品に切り替えてくれるため安心と信頼が持てると好評です。センター内の雰囲気もサロンのでくつろぎやすいというご意見をいただいております。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
<p>昨年度に引き続きセンターの周知を図るためパンフレット、チラシの作成をしました。また、町内会を回って更なるセンターの周知を行いました。センター玄関前のカラフルな看板に目を止める方、その看板に備え付けてあるパンフレット、チラシを持ち帰ってくださる方など、だんだんとセンターの雰囲気を理解して頂いている状況にあります。げんき応援事業では、市広報に掲載している事が周知されつつあり、たくさんの方々に講座を利用して頂いております。また、センター内でも各講座を写真付きで紹介展示し、他の講座にも興味を持っていただけるように工夫しております。センターに来ていただいた方々からは、「介護のイメージだったが全く違って気軽にこれそうだ」というお声もいただいております。</p> <p>はなみずきに関しては、まだまだ周知されていないという現状ですが「認知症本音で語ろう会」をはなみずきの一環で立ち上げ多くの方々の参加がありました。また男性の方々にもセンターに興味を持ってもらおうという試みで「男の台所」を立ち上げ、リピーターもつくほどに好評を得ております。次年度も様々な工夫を凝らし、ご高齢の方々にとって魅力のある萩野センターを目指します。</p>

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
<p>冬季、ひざ掛けや利用者が作った毛糸の座布団を利用し適温保持に努めています。サーキュレーター、扇風機を使用しセンター内の室温を攪拌し、均等な温度設定になるようにしました。節電においても日頃から職員に周知し心がけております。</p> <p>活動面においては利用者への声掛けで家にある使わない材料を持ってきていただき、使用するなどリサイクル活動という工夫をしています。食事面では法人からの昼食提供で経費を抑えることができ、同時に利用者が満足する食事の提供で残食も減らすことができました。</p> <p>設備面では法人の業者との協議でコスト削減することが出来ました。27年度も継続して行っています。</p>

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
<p>通所、自主事業共に利用率の向上により収入は増えたが、事業を展開するにあたり掛かる経費とのバランスは改善が必要と考えます。また、施設の老朽化により修繕が必要な部分も明確化されており、今後は利用者の安全確保のため適宜定期検査を実施すると共に、必要な修繕は速やかに行えるように業務を遂行していきます。</p>

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
<p>利用者の身体状況や残菜の状況、活動の内容に関する声を聞き取るなど、きめ細やかな支援をしており、職員の意識の高さについても評価できます。現状のプログラムを継続するだけでなく新たなプログラムに前向きに取り組んでおり、利用者の増、イメージ作り、雰囲気作りに良い効果を上げているといえます。今後も利用者の増に向けて、啓発・広報活動に努めていただくようお願いします。</p>	
経費削減の取組	
<p>職員だけでなく利用者を含めたリサイクル活動の意識向上に努めています。施設管理においても、法人全体で経費削減に取り組んでおり評価できます。</p>	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
<p>通所事業・自主事業共に積極的な事業運営ができており、市民サービスの向上に大きく貢献しています。今後も引き続き啓発・広報活動を実施すると共に、事業の収支バランスの適正化に努めてください。</p>	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。